

「第16回日中韓鉄道共同研究セミナー」を開催しました

平成28年11月14日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所(以下、鉄道総研)と中国鉄道科学研究院(以下、CARS)、韓国鉄道技術研究院(以下、KRRRI)は、韓国・水原にて11月1日から3日の3日間に渡り、「第16回日中韓鉄道共同研究セミナー」を開催しましたのでお知らせします。

鉄道総研とCARS、KRRRIは、2000年に共同研究等に関する協定を結び、各種技術分野における共同研究並びに情報交換を進めています。本セミナーは、KRRRIの創立20周年記念行事の一環として行われ、鉄道総研からは高井専務理事以下13名、CARSからはザオ・ヨウミン副院長以下11名、KRRRIからはキム・ギホワン院長以下15名が参加しました。

セミナー初日となる1日は、代表者会合、KRRRI試験設備見学並びに個別研究テーマに関する打合せが行われました。代表者会合では、地震を含む自然防災対策およびICTの活用をテーマに意見交換を行い、今後、両テーマについて重点的に検討することを確認しました。2日目の2日には、基調講演、テーマ中間報告および新規テーマの紹介が行われました。基調講演では、鉄道総研の地震防災システム課の佐藤新二課長が「日本の地震早期防災システム」、CARSのワン・ホワイシャン氏が「中国高速鉄道の建設と資金調達」、KRRRIのジョン・ホソング氏が「Rail Mobility 4.0」と題して講演を行いました。

研究テーマ中間報告では、進行中の5件のテーマの進捗状況が報告されました。また、新規テーマとして、「日中韓の鉄道輸送に関する比較研究」に関する情報交換を開始することが紹介されました。

セミナー最終日の3日には、テクニカルビジットとして、本年末に開業予定の高速新線(Suseo High Speed Rail・水西駅～天安牙山駅)の訓練運転列車への試乗が行われました。

今回のセミナーでは、次回の共同研究セミナーを日本で開催すること等に合意し、3者の代表者が議事録への署名を行いました。また、情報保護等に関する規定を充実した新しい共同研究等に関する協定書の締結も行いました。



写真1 日中韓鉄道共同研究セミナー参加者



写真2 議事録署名

鉄道総研 高井専務理事（左）、KRRI ヤン副院長（中）、CARS ザオ副院長（右）